

2024年3月期 第2四半期
連結決算概要

2023年11月8日

日本リーテック株式会社
(証券コード：1938)

■ 業績要旨

- ・ 前年同期比、**増収増益決算**となった。

■ 主な要因（対前年同期比）

- ・ 受注高は、332億円と**対前年同期比108億円の増加**となった。
公共投資が底堅く推移していることに加え、民間企業の設備投資意欲が回復しつつあることを背景に、当社グループにおいても主要顧客を中心に受注高が伸長した。特に送電線設備部門においては、現在活況となっている国内の送電線ネットワーク整備に向けた大型プロジェクト工事を複数受注したことにより、対前年同期比で大幅な増加となった。
- ・ 売上高は、217億円と**対前年同期比17億円の増加**となった。
例年、上半期の売上高で大きな割合を構成する前年度からの繰越工事が増加したことに加え、今年度の受注も堅調に推移したことが売上に寄与した。鉄道電気設備部門における北陸新幹線敦賀延伸工事や渋谷駅改良工事、屋内外電気設備部門における金融機関の受変電設備改修工事のほか、送電線設備部門における御坂線ルート変更工事など、大型プロジェクト工事を中心に施工が順調に進捗しており、対前年同期比で増加となった。
- ・ 営業利益は、▲1億円と**対前年同期比9億円の増加**となった。
原材料価格や人件費の高騰影響等により、引き続き採算は厳しい状況が続いている。黒字には達していないものの、売上高の増加に加え、顧客との価格協議や効率的な要員操配、経費節減などに努めたことで売上原価率が改善し、対前年同期比で赤字幅が減少となった。
- ・ 親会社株主に帰属する四半期純利益は、▲0.7億円と**対前年同期比6億円の増加**となった。

連結損益計算書



(単位：億円)

	2023年3月期 2Q実績	2024年3月期 2Q実績	増減	2024年3月期 通期予想	
受注高	224	332	+108	-	-
売上高	200	217	+17	580	
営業利益	▲10 ▲5.3%	▲1 ▲0.7%	+9	29	5.1%
経常利益	▲9 ▲4.6%	▲0.3 ▲0.2%	+8	33	5.7%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	▲7 ▲3.6%	▲0.7 ▲0.4%	+6	23	4.0%

※ 公表値は、決算短信で公表している通期の予想値となります。

※ 記載されている割合は、利益率を表しております。

※ 各数値は表示単位未満を切り捨てて表示し、比率は単位未満を四捨五入しております。(以降同様)

連結貸借対照表

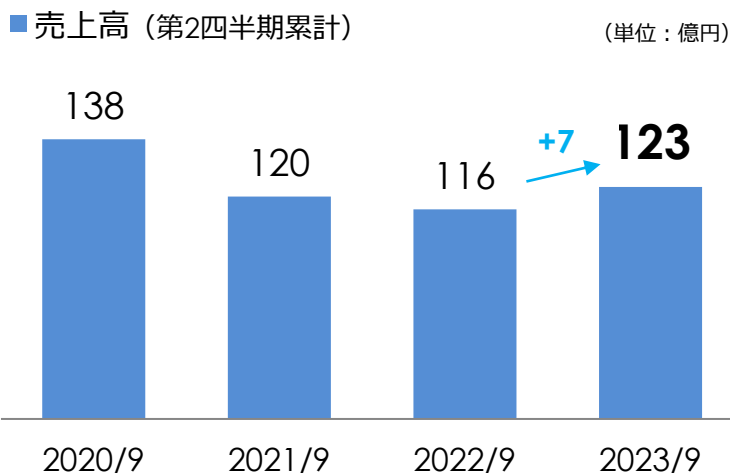
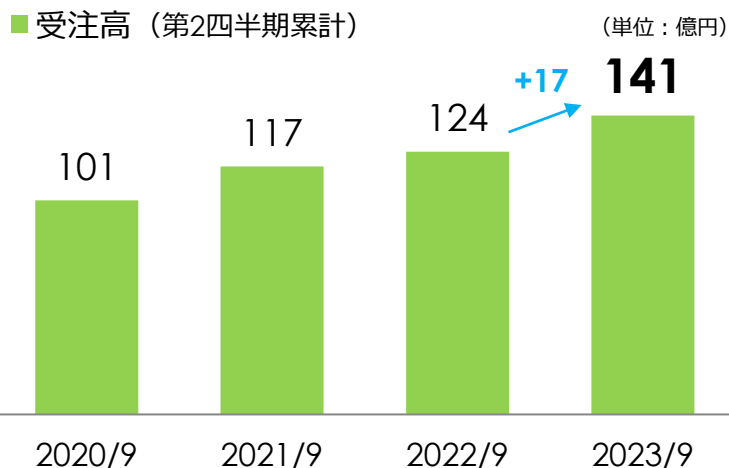
(単位：億円)

	22/09 2Q 実績	23/09 2Q 実績	増減
流動資産	415	427	+11
固定資産	362	367	+5
資産合計	777	794	+16
流動負債	161	150	▲10
固定負債	74	76	+1
負債合計	235	226	▲8
純資産合計	542	567	+25
負債純資産合計	777	794	+16
自己資本比率	69.7%	71.5%	+1.8P

※自己資本比率 = (純資産-非支配株主持分) / 総資産

■ 主な要因（対前年同期比）

- ・流動資産は、手持ち工事量の増加に伴い、未成工事支出金が増加したこと等により、対前年同期比11億円の増加となった。
- ・固定資産は、旧富山工場の土地・建物等売却に伴う有形固定資産の減少、保有する上場株式の時価評価額増加等により、対前年同期比5億円増加となった。
- ・流動負債は、短期借入金の減少、工事未払金等の仕入債務の増加等により、対前年同期比10億円の減少となった。
- ・自己資本比率は、71.5%と対前年同期比1.8P上昇した。



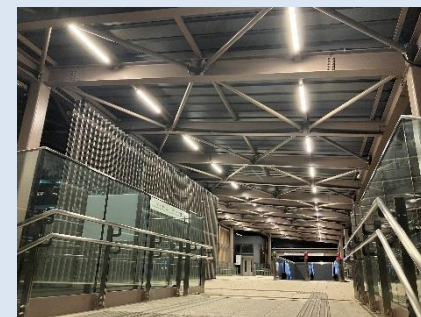
主なポイント

- 受注高については、141億円と対前年同期比17億円の増加となった。新郡山変電所配電盤新設や新庄駅連動装置取替など、安全性や安定性に資する工事、老朽化に伴う維持・更新工事等で受注を確保した。
- 売上高については、123億円と対前年同期比7億円の増加となった。北陸新幹線延伸工事や渋谷駅改良工事など施工が順調に推移し、売上高の増加に寄与した。

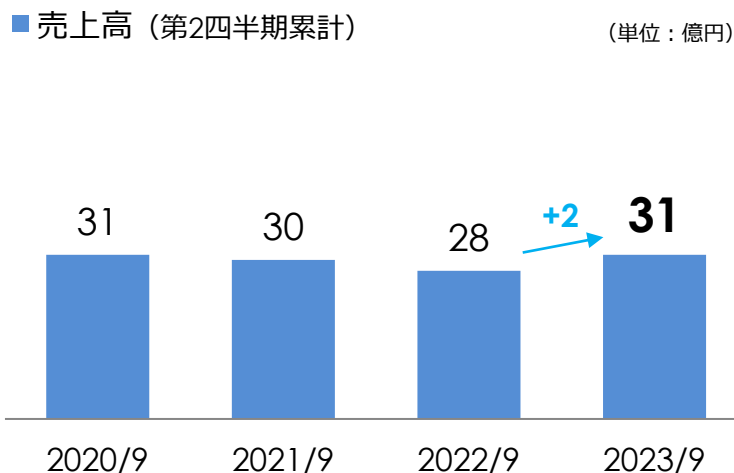
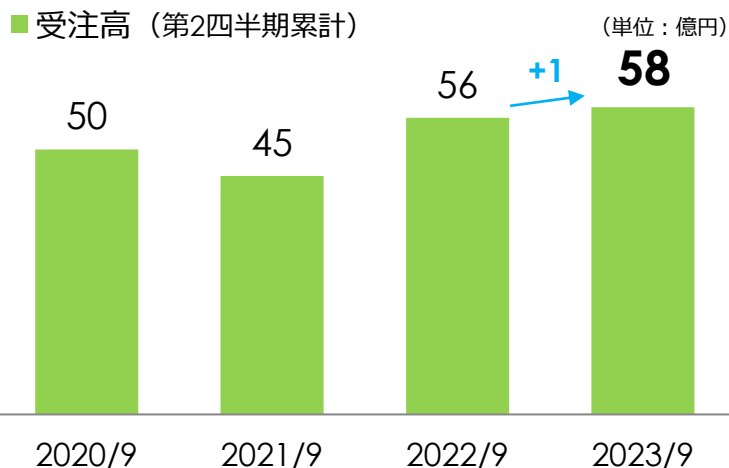
主な施工実績 (進捗中案件含む)



渋谷駅電車線路改良
(東京都)



浜松町駅配電設備新設
(東京都)



主なポイント

- 受注高については、58億円と対前年同期比1億円の増加となった。各都道府県警からの交通信号機工事が堅調に推移しているほか、高速道路における構造物改良工事、トンネル照明工事等の受注を確保した。
- 売上高については、31億円と対前年同期比2億円の増加となった。上記受注状況を反映して売上高も堅調に推移。平年ベースを維持している。

主な施工実績 (進捗中案件含む)

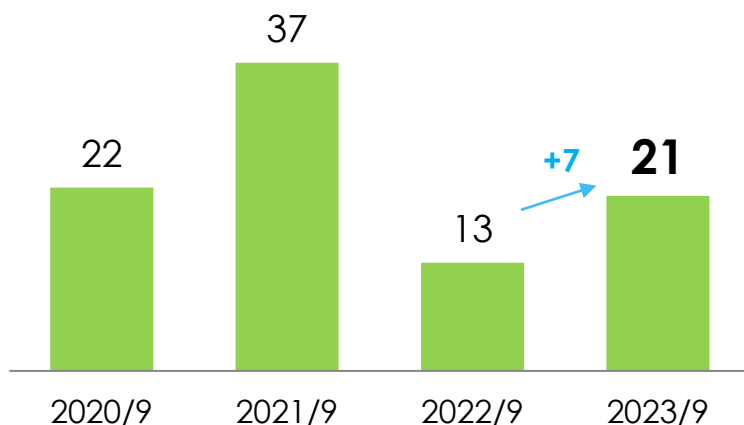


高速道路CCTV設備

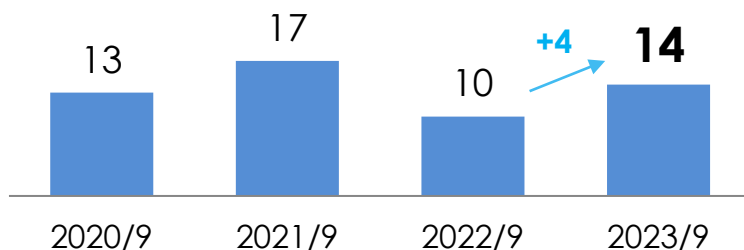


国道17号線標識・区画線配置 (群馬県)

■ 受注高 (第2四半期累計) (単位: 億円)



■ 売上高 (第2四半期累計) (単位: 億円)



主なポイント

- 受注高については、21億円と対前年同期比7億円の増加となった。民間企業の工場施設新築や設備更新工事のほか、スポーツ施設の照明設備改修工事などの受注を確保した。
- 売上高については、14億円と対前年同期比4億円の増加となった。商業施設や金融機関の電気設備改修工事など、施工は堅調に推移している。

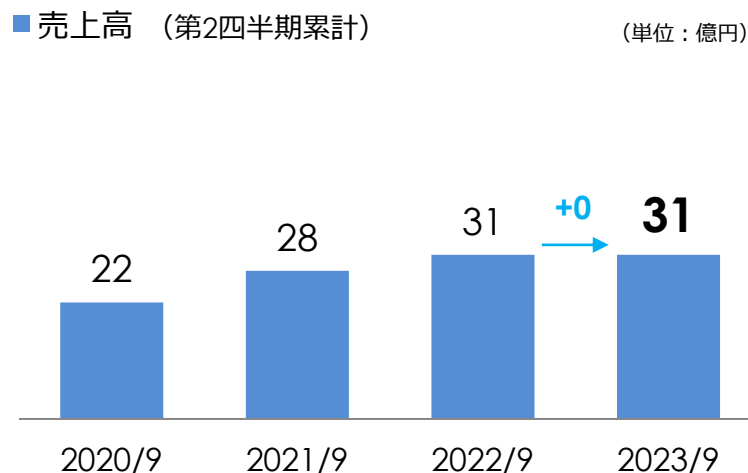
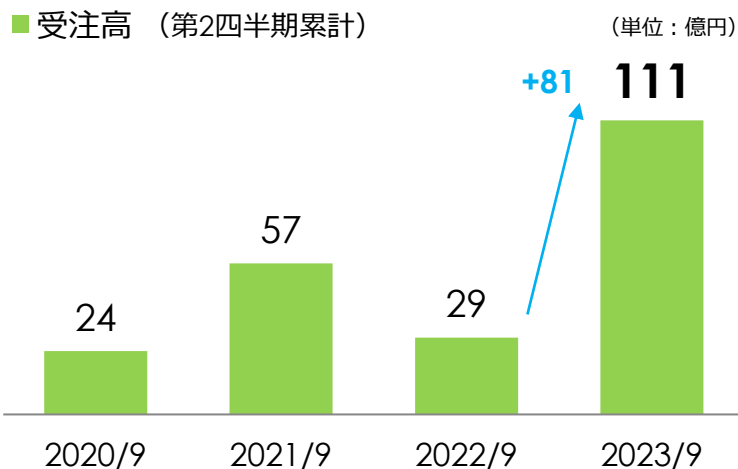
主な施工実績 (進捗中案件含む)



東武ストア蒲生店電気設備改修 (埼玉県)



門司港レトロ イルミネーション灯設置 (福岡県)



主なポイント

- 受注高については、111億円と対前年同期比81億円の増加となった。リニア中央新幹線電力供給工事や基幹送電線増強工事など、大型プロジェクト工事を複数受注したことにより、大幅な増加となった。
- 売上高については、31億円と対前年同期と同水準となった。前年度からの繰越工事を含め、送電ネットワーク整備に関する工事が順調に推移している。

主な施工実績 (進捗中案件含む)



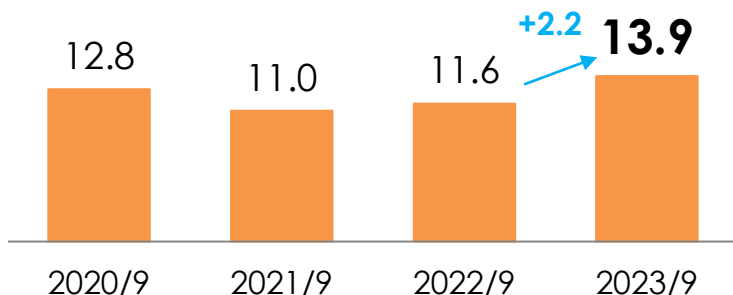
宮城丸森幹線鉄塔新設
(宮城県)



神戸三田線鉄塔建替
(兵庫県)

兼業事業

■売上高（第2四半期累計） (単位：億円)



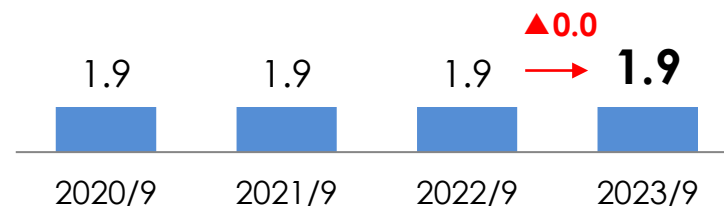
■売上高は13.9億円と対前年同期比で2.2億円増加となった。

<兼業事業の内容>

- ・交通施設に関する標識及び交通安全用品の製造・販売業務
- ・建物・関連設備の保守管理業務、機械装置・仮設材関係の保守管理業務

不動産賃貸事業

■売上高（第2四半期累計） (単位：億円)



大崎ブライトタワー
(区分所有)



NRグランディール万代
(個人向け賃貸物件)



2024年3月期 連結業績予想

連結業績予想サマリー



2024年3月期決算は **“増収増益”**を見込む

■ 業績予想要旨

- ・ 新型コロナウイルス感染症の沈静化傾向や政府の各種経済対策等の効果に支えられ、景気は緩やかな回復基調で推移するものと想定。
- ・ 当社グループの主要顧客は、コロナ影響による大きな業績の落ち込みから回復傾向にあり、工事の発注時期や受注条件等も改善されつつある。
- ・ 前期繰越工事高の増加に加え、改善されつつある受注環境を背景に、各部門とも工事は順調な推移が見込まれ、売上高は前期比42億円の増加を見込む。
- ・ 一方、前期からの繰越工事には受注条件の厳しい工事も未だ含まれるほか、近時の原材料価格や人件費の高騰も影響し、利益率の回復は限定的と想定。営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益はともに前期比1～2億円ほどの増加を見込む。

連結業績予想数値



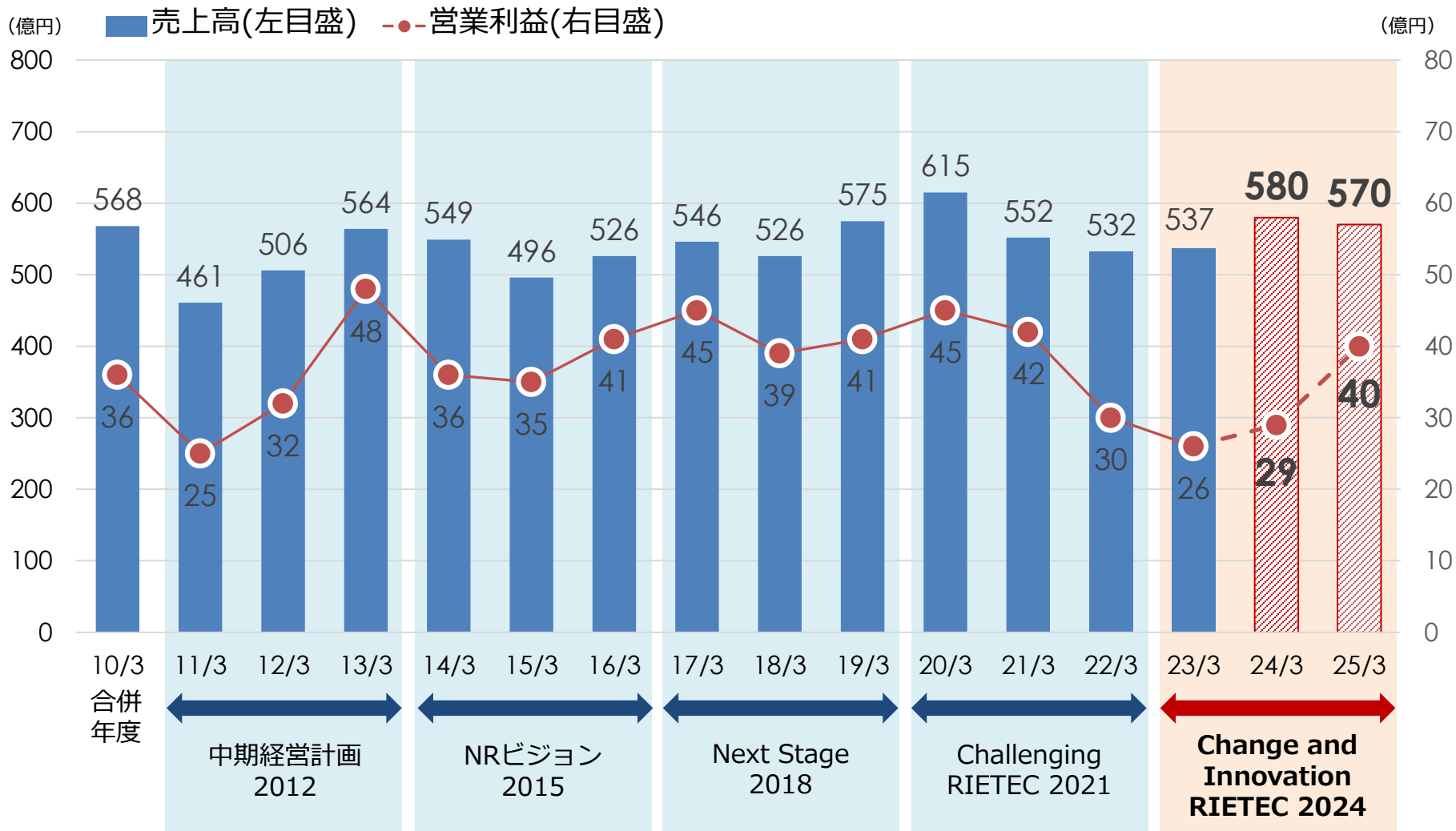
(単位：億円)

	2023年3月期 (実績)		2024年3月期 (予想)		前期比
売上高	537		580		+42
営業利益	26	5.0%	29	5.1%	+2
経常利益	30	5.7%	33	5.7%	+2
親会社株主に帰属する 当期純利益	21	4.0%	23	4.0%	+1

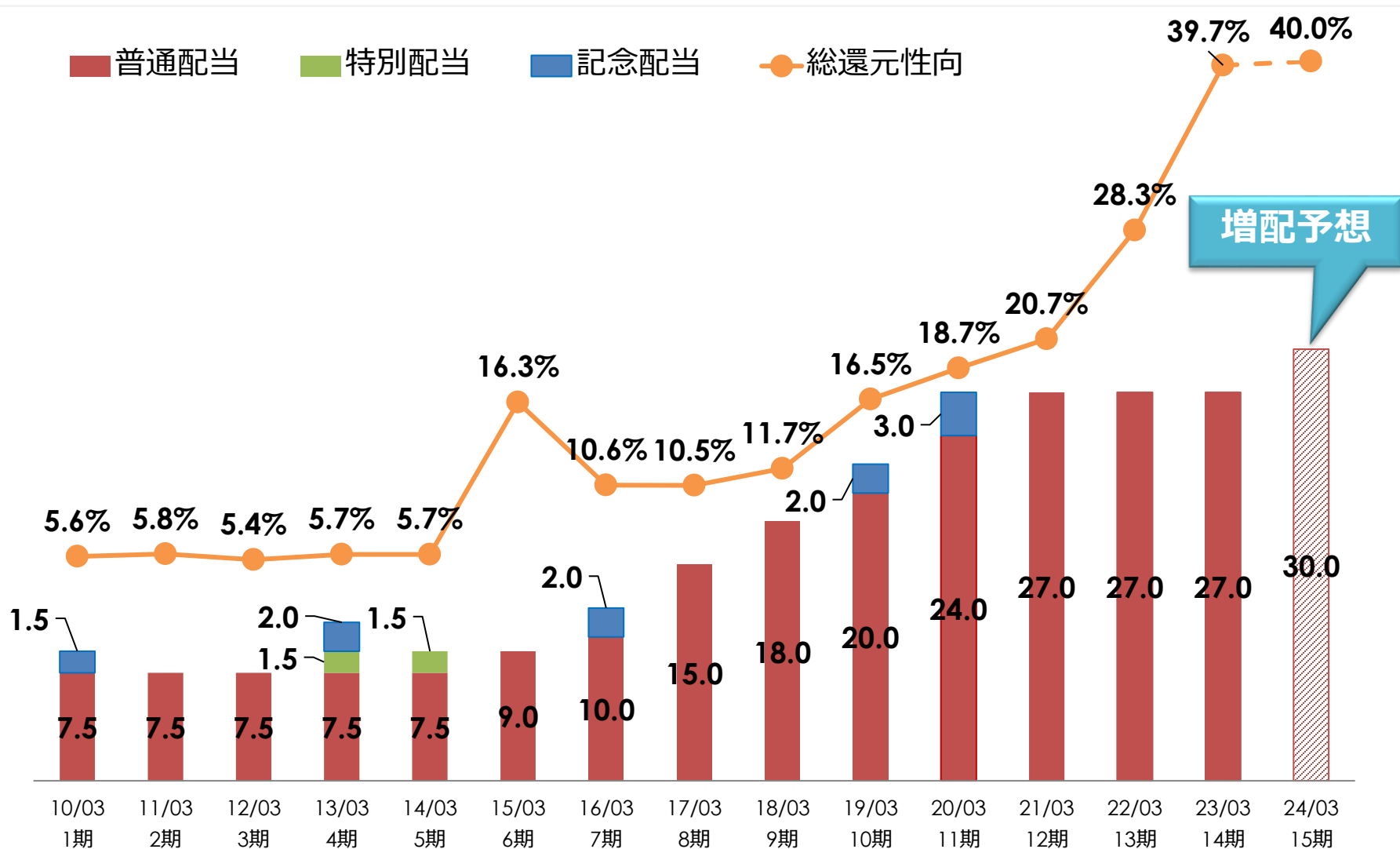
※ 記載されている割合は、利益率を表しております。

※ 各数値は表示単位未満を切り捨てて表示し、比率は単位未満を四捨五入しております。

売上高及び営業利益の推移（連結）



配当状況の推移



本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、日本リーテックグループが現時点で入手可能な情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

なお、異なる結果となった場合でも当社は本資料を改定する義務を負いかねますので、ご了承ください。

(お問い合わせ先)

日本リーテック株式会社
経営企画部 広報・IRグループ

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-6
T E L : 03-6880-2714
F A X : 03-6880-2750
H P : <https://www.j-rietec.co.jp/>